

生体信号時系列解析プログラム

Trend Viewer

トレンドビューア

心電図、血圧、呼吸、脳波、筋電図等の生体信号をトレンド解析

対象分野

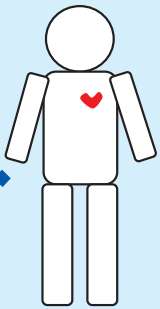
ストレス

快適性

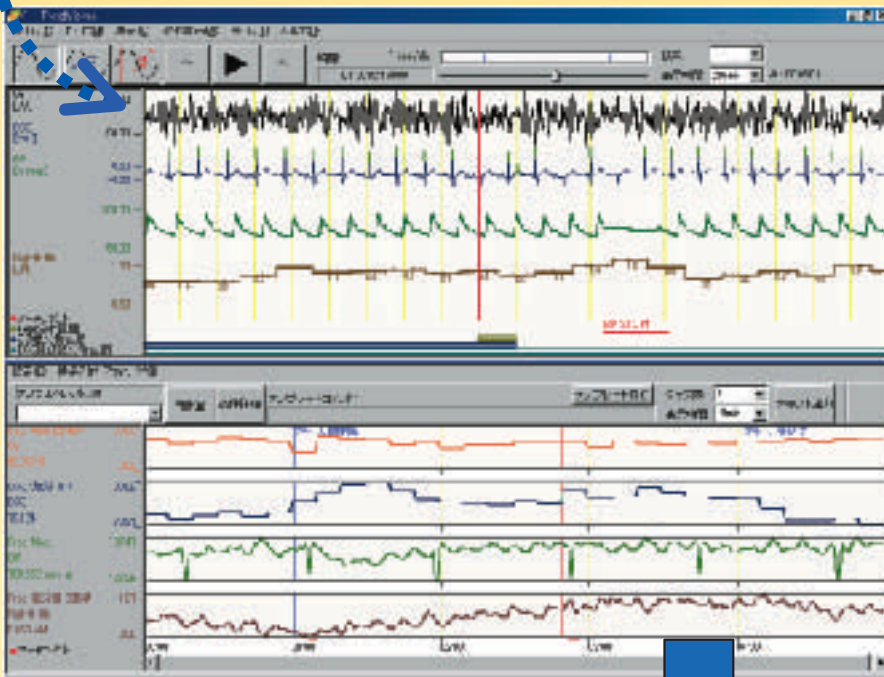
製品開発

トレーニング

リハビリテーション



刺激前のデータ(基準データ)と刺激後のデータ(負荷データ)を数値化することで、ストレス・快適性・製品開発・トレーニング/リハビリ前後などの時間経過による変化を定量化する実験に役立ちます。



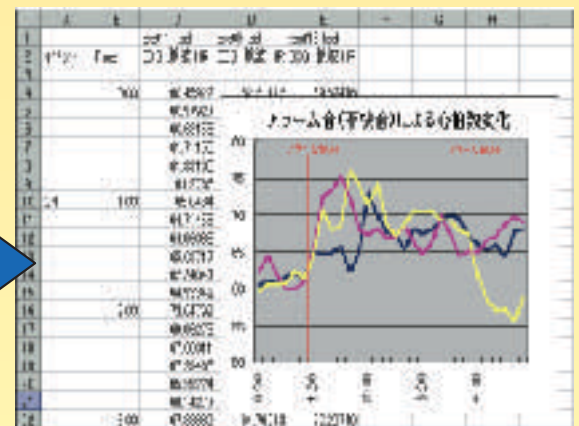
■収録後瞬時に時系列解析が行えます。

収録プログラムと連動することにより、収録後直ちに解析結果をみることができます。

■時系列解析結果は表計算ソフトへ。

表計算ソフトに解析結果を転送できますので集計など2次処理が簡単に行えます。

表計算ソフトへ転送

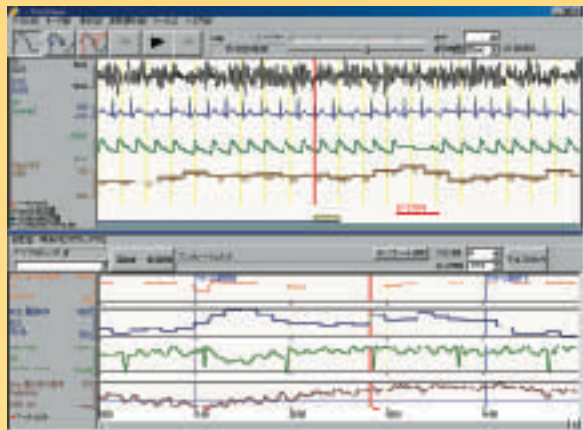


開発協力: 静岡県静岡工業技術センター



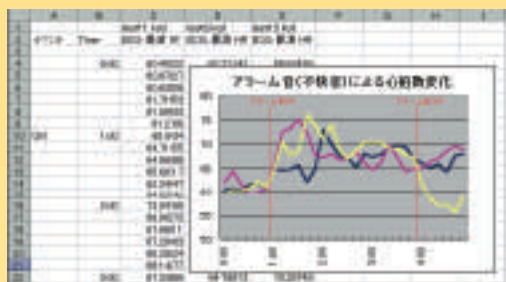
キッセイコムテック株式会社

TrendViewerの主な機能



解析例

不快だと思われるアラーム音を聞かせることでストレスを与えたときのものです。半分から上が20秒間の生体信号を表示しています。一番上から脳波、心電図、血圧、脳血流です。半分からは収録した5分間の時間経過による変化を表示しています。収録を開始してから1分後にアラーム音を聞かせ、3分間聞かせ続けています。上から脳波のアルファ波の含有率、心電図の心拍数、血圧の最大値、脳血流の差分値となります。このようにストレスを与えることによって脳波のアルファ波が減少したり、心拍数が上がったといった数値データを表示します。最終的にはこれを複数データ計測し統計をとることによって評価するようになります。



時系列解析結果を集計してExcel形式に出力します。表示された数値データは簡単に表計算ソフト等にデータ転送できます。Excel等の表計算ソフトを使って最終的な集計や検定を行います。

対象信号	解析内容	その他の機能
脳波	帯域別含有率、帯域別含有量	A/D変換、デジタルデータ読み込み
心電図、脈波	HR、LF、HF、LF/HF、Interval、CVRR	アーチファクト設定、イベントの設定
筋電図	積分値、mean周波数、median周波数、RMS	デジタルフィルタ
呼吸	呼吸数、P-PAmplitude、Interval	テンプレートとして保存
その他	Min、Max、Mean、ABS(Max)、CrossCounts、差分値	Excel形式として出力

動作環境 (パソコン)

パソコンスペック	Pentium® III 600MHz (1GHz以上推奨) メモリ128MB (256MB以上推奨) 解像度1024×768 (1280×1024以上推奨)
OS	WindowsXp その他のOSはお問い合わせください
対応Excel	OfficeXp、2003
対応A/D変換ボード	デスクトップ(PCIバス): AD16-16U(PCI)EH (コンテック社製) ノートパソコン(PCカードスロット): ADA16-32/2(CB)F (コンテック社製)



キッセイコムテック株式会社

メディカルシステム事業部 セールスグループ
〒390-1293 長野県松本市和田 4010-10
<http://www.kicnet.co.jp/>
TEL 0263-40-1122 FAX 0263-48-1284

●このカタログの内容は、改良のため予告なしに仕様、デザインを変更することがあります。●Windows、Office、Excelは米国マイクロソフト社の登録商標です。●その他、プログラム名、システム名、CUP名は一般に各メーカーの(登録)商標です。●本製品(ソフトウェア)は外国為替及び外国貿易管理法の規定により、輸出規制品の対象品目に該当します。日本国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取り下さい。